

朝来市議会様

川越市の観光振興について

令和4年7月15日（金）
川越市 産業観光部 観光課



川越市の紹介

川越市の概要



川越市の紹介



埼玉県川越市

【面積】 109.13km²
【人口】 約35万人

大正11年 市制施行（県内初）
平成15年 中核市に移行



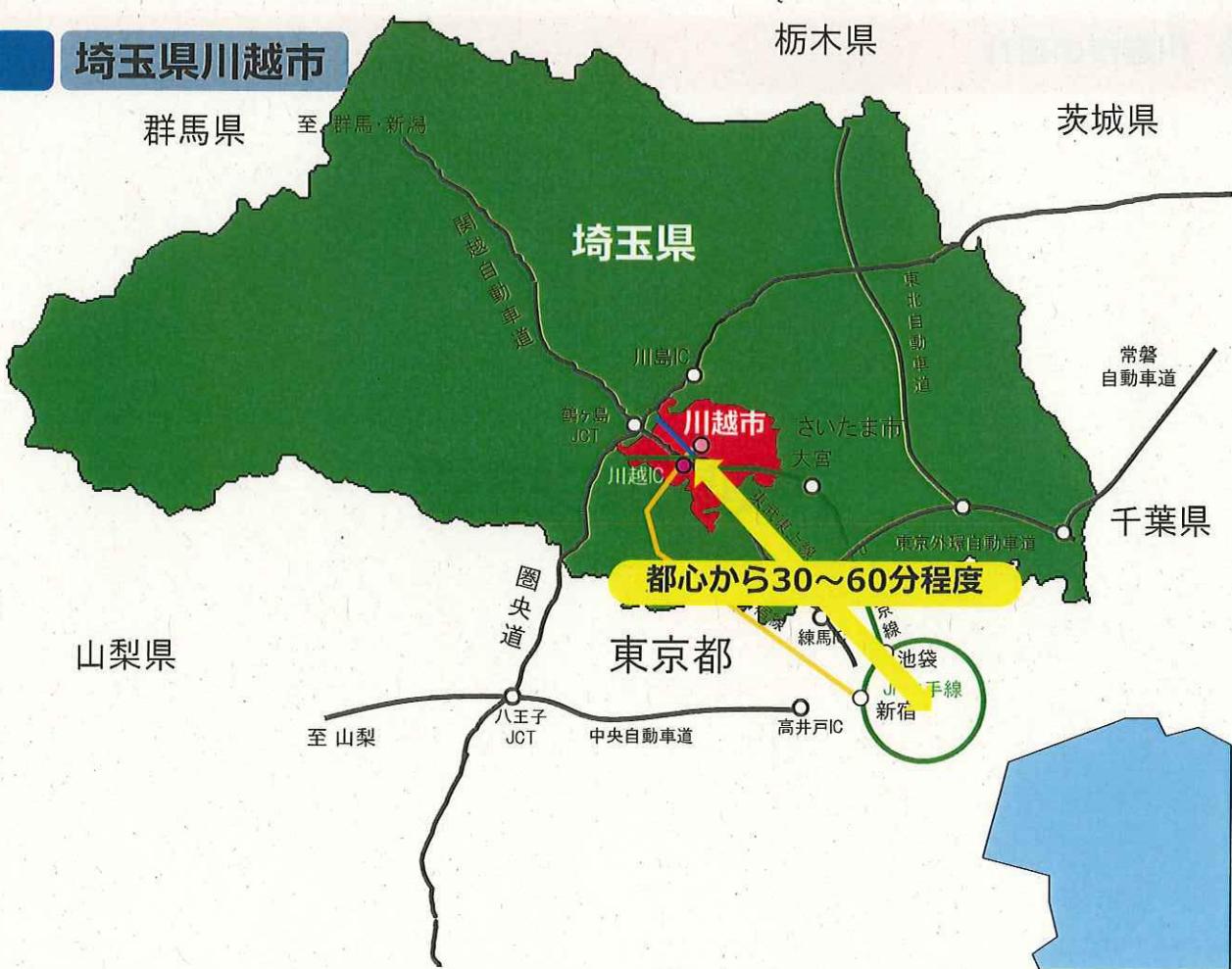
埼玉県川越市

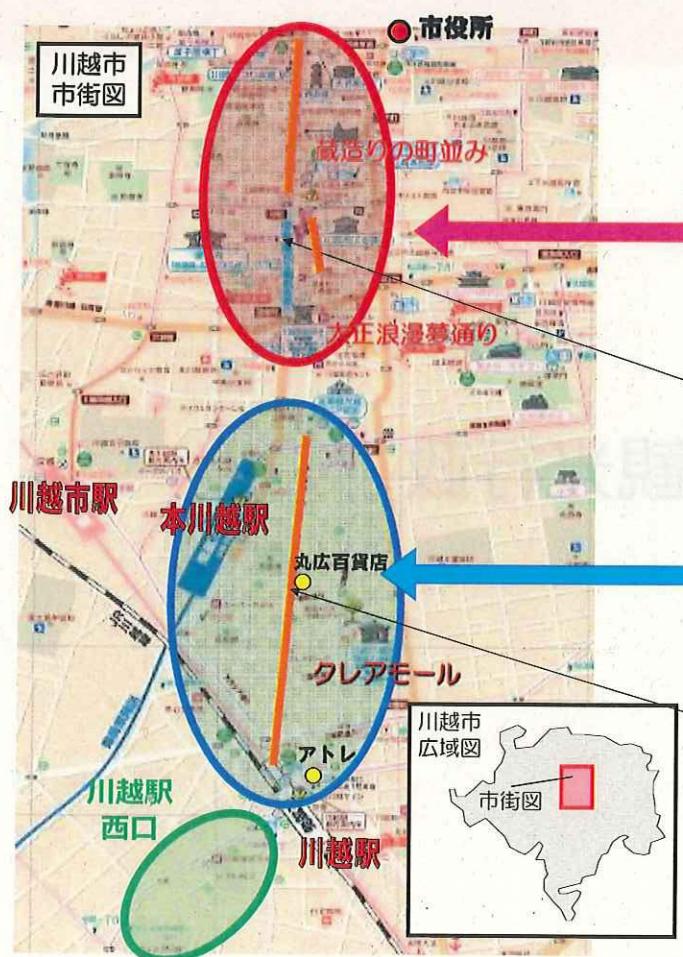
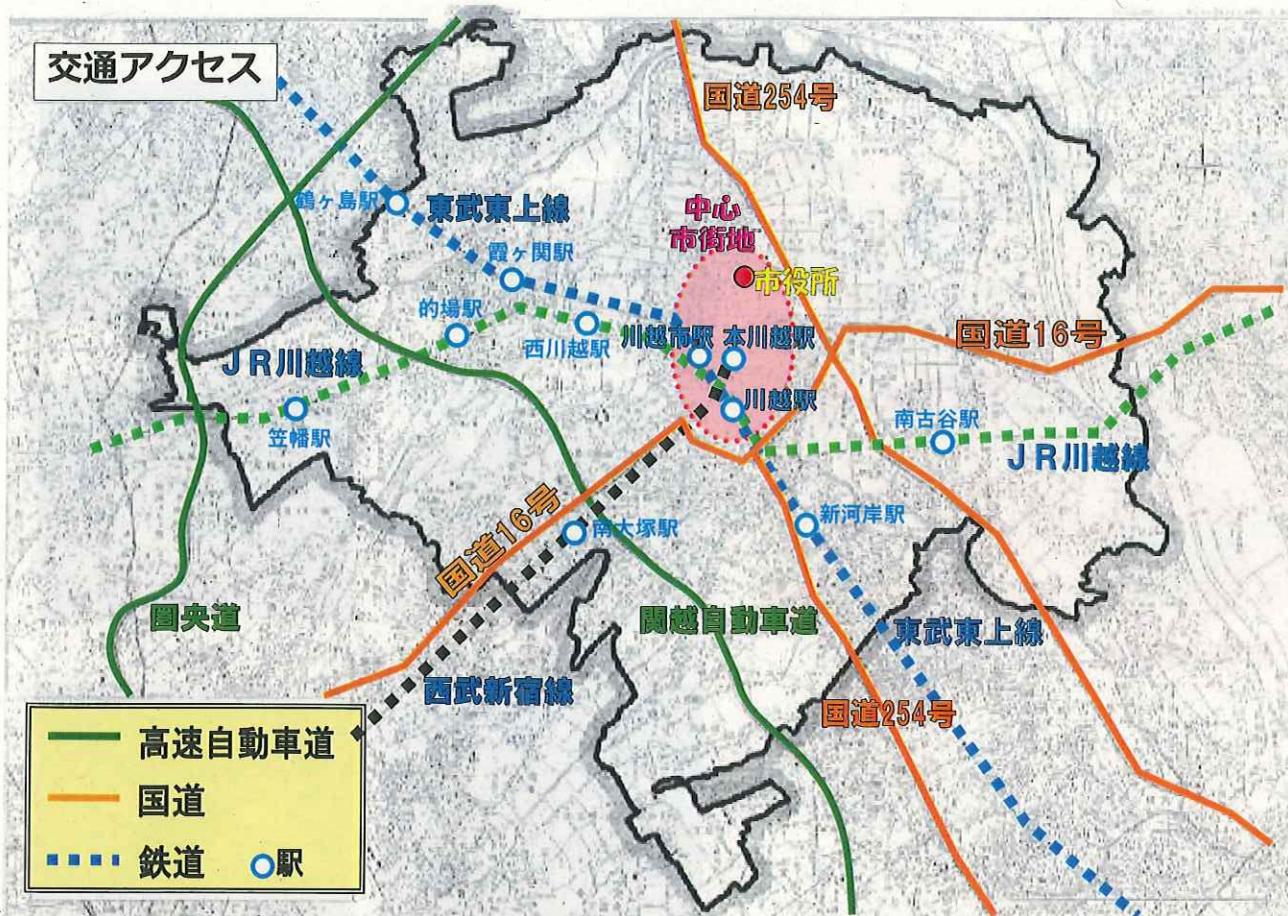
群馬県

至 群馬・新潟

栃木県

茨城県





川越の中心市街地の構成

● 北部市街地

⇒ 観光（歴史的）ゾーン

南部に駅が出来たことにより一時は衰退したが、市民等による保存運動などを契機に数多くの復興事業が手がけられた。



蔵造りの町並み

● 南部市街地

⇒ 商業（近代的）ゾーン

3駅を中心にして、金融・サービス・商業などが集積。最も人の動きがあるエリア。



クレアモール

川越駅西口



①西口橋上デッキ



②U-PLACE 商業施設+行政施設+宿泊施設（東武ホテル）



③ウエスタ川越 商業施設+行政施設（大ホール、県施設等）



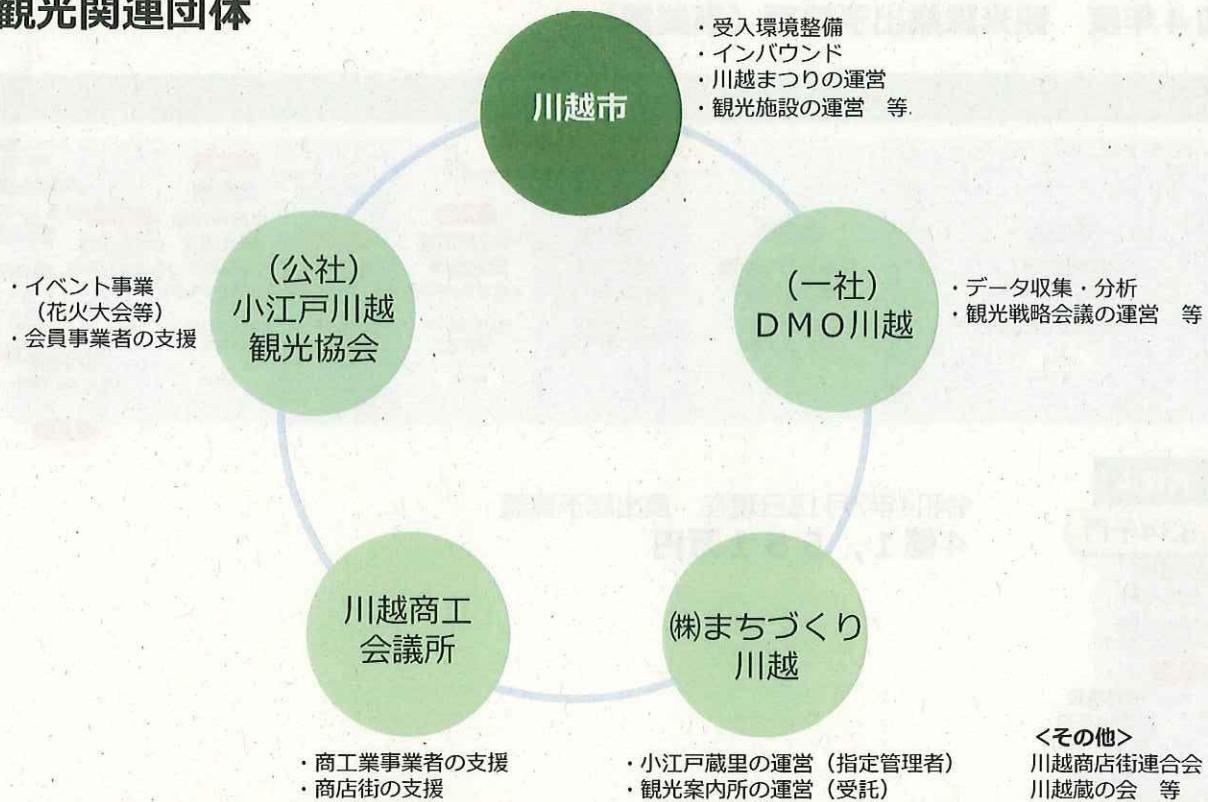
川越市の紹介

川越市の観光行政



川越市の紹介

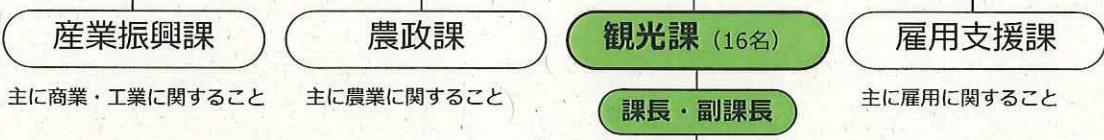
観光関連団体



川越市の観光行政

行政組織 (令和4年度)

産業観光部



観光企画担当 (6名)

- ・新たな観光事業の企画
- ・観光振興計画の策定・進捗管理
- ・観光関連団体の支援
(小江戸川越観光協会、DMO)
- ・観光アンケート・カウント調査
- ・インバウンド
- ・観光客増加対応
- ・鉄道会社との連携
- ・無料Wi-Fi維持管理
- ・小江戸川越大使・小江戸川越観光親善大使
- ・猩猩山車の運行事務 (川越まつり)
- ・川越ロケーションサービス
- ・みんなで支える観光基金
- ・川越市マスコットキャラクターときも

観光推進担当 (4名)

- ・川越まつりの運営
(川越まつり協賛会事務局)
- ・(川越市山車保存町内協議会事務局)
- ・(川越市囃子連合会事務局)
- ・花火大会の運営 (令和4年度のみ)

観光施設担当 (4名)

- ・川越まつり会館の運営・維持管理
- ・旧山崎家別邸の運営・維持管理
- ・郊外型駐車場の維持管理
- ・市庁舎駐車場の運営 (土日祝のみ)
- ・観光サインの維持管理
- ・公衆トイレの維持管理
- ・旧小林斗あん宅の活用



川越市の観光行政

令和4年度 観光課歳出予算額（事業別）



新型コロナウイルス

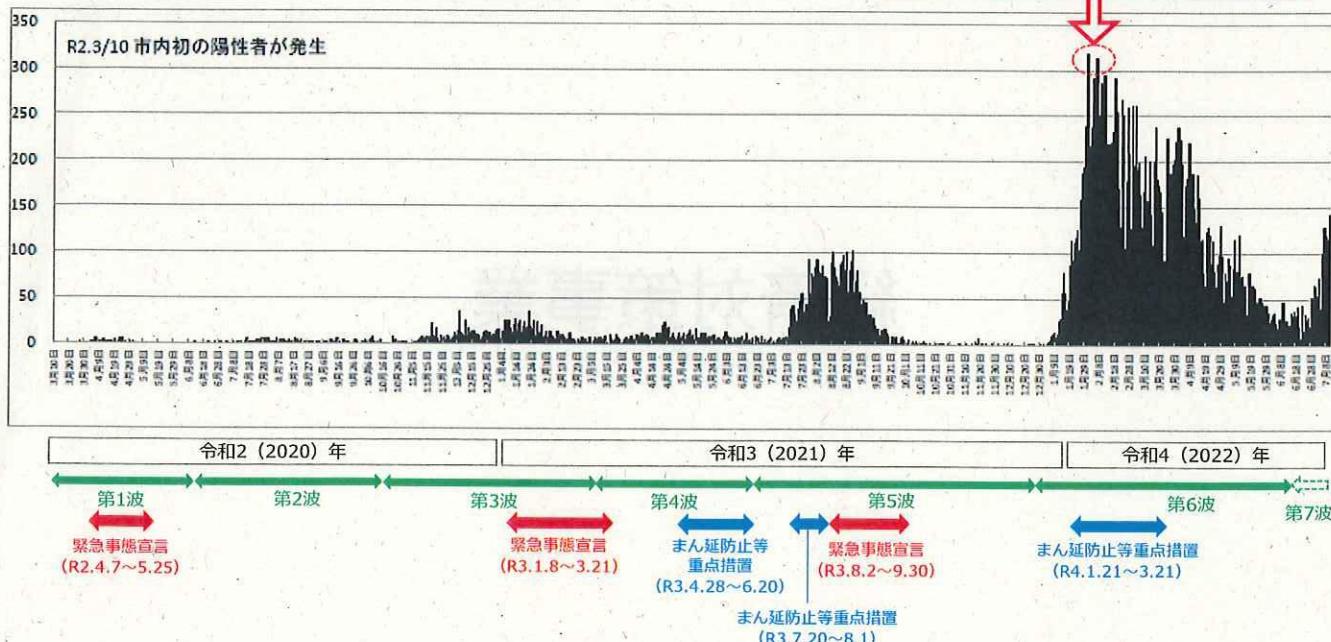
新型コロナウイルスの影響



新型コロナウイルスの影響

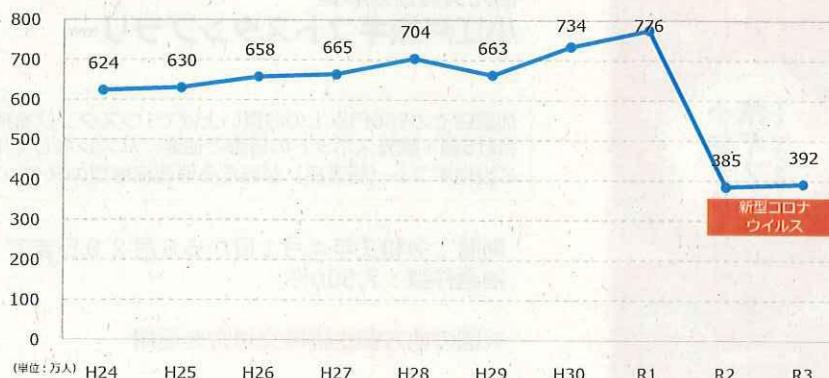
川越市陽性確認者数（新規）の推移

オミクロン株の最流行期には
1日300人を超過する日もあった

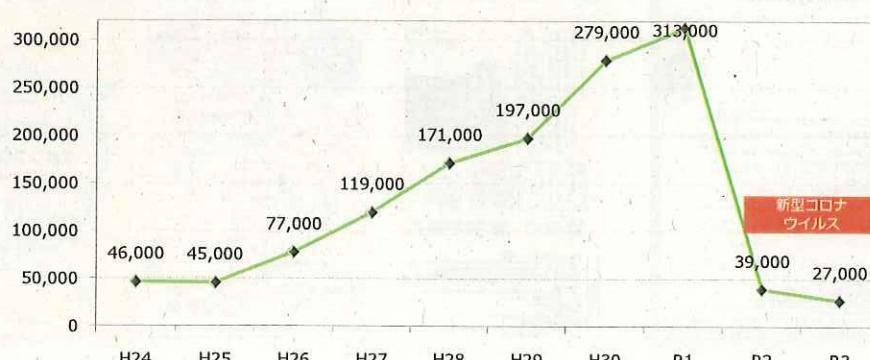


新型コロナウイルスの影響

川越市入込観光客数



外国人観光客数





新型コロナウイルス

経済対策事業



新型コロナウイルスの経済対策事業①



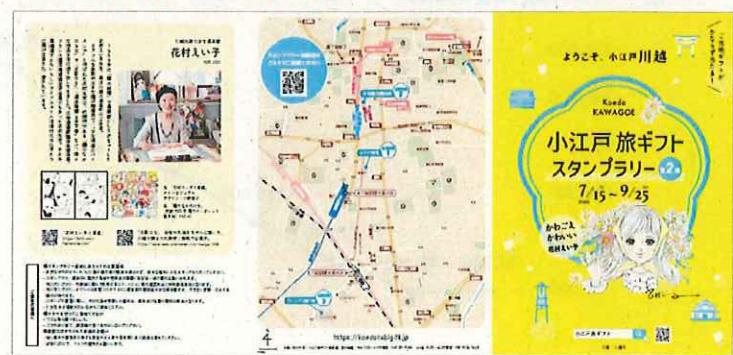
観光消費促進事業 小江戸旅ギフトスタンプラリー

加盟店での500円以上のお買い上げで1つスタンプを押印し、合計5個+観光スポットの撮影で抽選、ハズレなしで川越のご当地ギフト（特産品）が当たる消費促進型のスタンプラリー

期間：令和3年4月1日から6月20日まで
抽選件数：7,500件

※国の**地方創生臨時交付金**を活用

ちょうど本日（7/15）から、小江戸旅ギフト第2弾が開始！





新型コロナウイルスの経済対策事業①

プレミアム付商品券の発行

項目	内容
商品券の名称	越えていこう、小江戸プレミアム付商品券
商品券使用期間	令和2年11月27日（金）から令和3年5月6日（木）まで
発行総額	14億3,000万円
販売単位・券種内訳	<p>販売単位：1冊 販売額：10,000円 (商品券額面13,000円) 券種内訳(1冊当たり) 【A共通券】1,000円券×8枚（※全加盟店舗で使用可能） 【B専用券】500円券×10枚（※中小規模店舗でのみ使用可能）</p>
発行総数	110,000冊
購入可能冊数	1世帯当たり3冊まで
応募対象者	どなたでも可能 ただし、応募数が発行数を超えた場合は、市内在住者を優先



新型コロナウイルスからの回復

イベント名	開催時期	令和2年	令和3年	令和4年
小江戸川越春まつり オープニング	3月下旬	中止	中止	中止
小江戸川越花火大会	8月	中止	中止	開催
川越まつり	10月中旬	中止	中止	開催
産業フェスタ	11月下旬	中止	中止	開催
小江戸川越ハーフマラソン	11月下旬	中止	中止	開催



川越の観光課題と対策



川越市の観光課題

課題 1 観光時間が日中の短時間となっており、伸び悩んでいる

- ▶ 新たな観光事業の推進により、日中以外の時間帯での観光需要を創出することが求められている。

課題 2 I C T の活用が不十分である

- ▶ 各種事業に I C T を活用することにより、観光客の利便性及び満足度の向上が求められている。

課題 3 外国人観光客の受入環境が不足している

- ▶ 外国人観光客が自由にまち歩きを楽しめる受入環境の整備が求められている。

課題 4 観光客の増加により交通の安全性不足とゴミ環境問題が生じている

- ▶ 観光客が安心してまち歩きを楽しめる環境の整備が求められている。

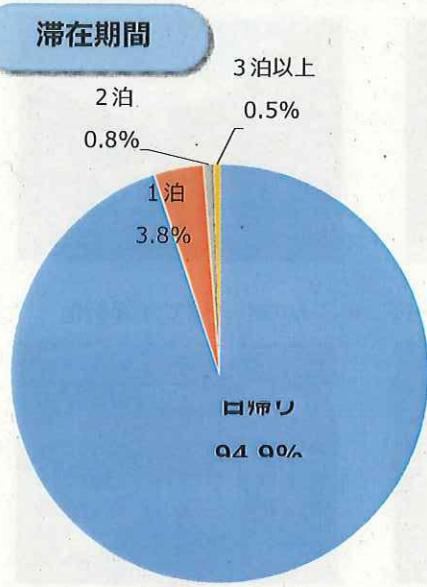
課題 5 地域内外の連携が不足している

- ▶ 多くの関係者や周辺地域との連携向上により、さらなるまちの賑わい創出や広域観光の推進が求められている。



川越市の観光課題

課題 1 観光時間が日中の短時間となっており、伸び悩んでいる



観光時間



▶これまで、夜の観光事業（ライトアップ）等を実施しているが、滞在期間や観光時間を抜本的に変化させるほどの成果は上げられていない



川越市の観光課題

課題 2 ICTの活用が不十分である

▶観光客数のカウント調査にGPSデータを活用した手法に変更し、事務の簡素化を実現



川越市の観光客数は、この3つの観光客数を積み上げて発表している

令和2年まで

カウンタを用いて人力で計測
【デメリット】
・集計作業に手間がかかった
・コロナで調査しづらくなったり

ICTを導入

令和3年以降





川越市の観光課題

課題 4 観光客の増加により交通の安全性不足とゴミ環境問題が生じている

交通問題

▶市中心部は城下町の道路構造を基本的に残しており、歩道が狭いため混雑しやすい



ごみ問題

▶食べ歩き観光の普及により、土日や観光シーズンのごみのポイ捨てが深刻化



ゴールデン一一周間中、戻造りの町並みに2ヶ所
エコステーションを設置し、ポイ捨てを予防



新型コロナウイルス

川越の観光資源



蔵造りの町並み

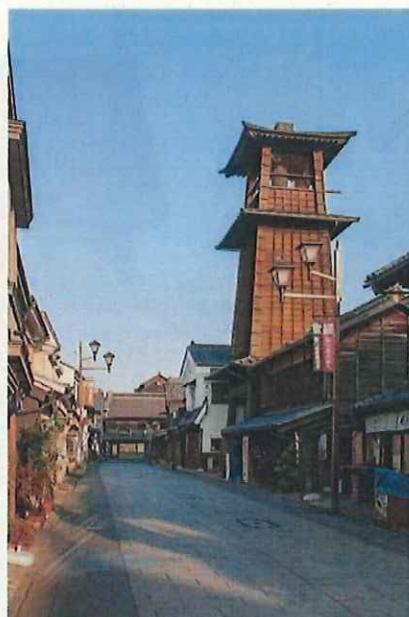


川越の大火（明治26年）によって蔵造りの耐火性が証明され、明治後期に数多く建てられた。
昭和後期に取り壊しも進んだが、市民等による保存運動が起り、行政等も連動して平成初期に電線類地中化事業や歴史的地区環境整備地区（歴みち）事業を実施。
平成11年に、国の重要伝統的建造物群保存地区に選定された。

25



時の鐘



蔵造りの町並みの中間部に立地。約400年前から城下町に時を知らせてきた。

1日4回（6時、12時、15時、18時）時を知らせてている。

平成8年、環境庁（現環境省）主催の「残したい日本の音風景百選」に選定された。

26



川越氷川神社



今から約1500年前、古墳時代の欽明天皇2年に創建されたと伝えられています。本殿には緻密な彫刻が施されており、県の重要文化財となっている。

また、縁結びの神様としての信仰を集め、古くから伝わる、「境内の玉砂利を持ち帰り、たいせつにすると良縁に恵まれる」との言い伝えにちなみ、本殿前の白い玉砂利を巫女が麻の網に込み、神職がお祓いした「縁結び玉」をお渡しすることが、若い女性を中心に話題となる人気スポット。

27



菓子屋横丁



昭和初期には70数件が軒を連ねていた。

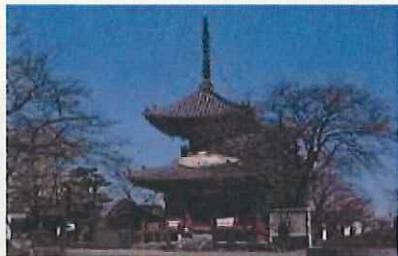
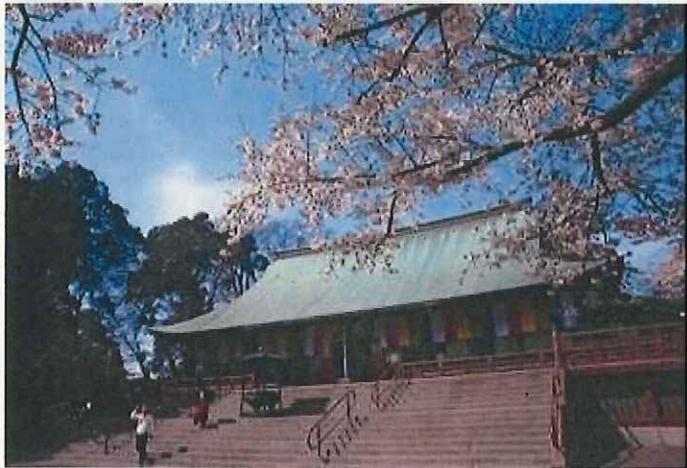
現在では、20数件が工夫を凝らした駄菓子類を製造・販売している。

平成13年環境省主催の「かおり風景百選」に選定された。

28



喜多院



徳川家と縁の深い天海僧正が第27代を継いだ江戸時代に大いに栄えた。

江戸城から移築された家光公誕生の間や春日の局「化粧の間」があることでも知られている。

毎年1月3日には、初大師（だるま市）で賑わうなど、多くの参拝客が訪れている。

29



川越城跡（本丸御殿・中ノ門堀跡）



川越城本丸御殿



川越城中ノ門堀跡

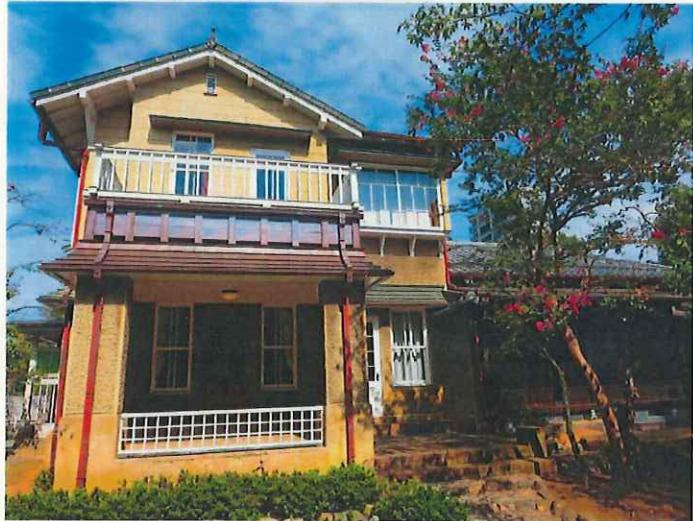
川越城は、長禄元年（1457）に上杉持朝の命により、家臣の太田道真・道灌父子によって築かれた。本丸御殿は、現存するものとしては、東日本唯一の貴重な遺構である。

天正18（1590）年、徳川家康の関東入部に伴い川越藩が置かれたが、江戸の北の守りであり、豊富な物資の供給地であることから、幕府は親藩・譜代の有力な大名を川越に配置した。

30



旧山崎家別邸



旧山崎家別邸は、市内で菓子屋を営む山崎家の隠居として、大正14（1925）年に建てられた。設計は、大正時代に多くの住宅建築を手掛けた保岡勝也で、主屋は2階建ての洋館、平屋建ての和館、及び2階建ての土蔵を接続して一体となし、外観は洋風と和風の意匠の取り合い巧みに処理して調和を図っている。

令和元年5月には、国の重要文化財指定の答申がなされ、8月に正式に指定される。

31



川越まつり



毎年**10月第3日曜日とその前日**に実施。川越が1年で最も賑わう時である。

約380年続く国指定重要無形民俗文化財で、川越まつりに出てくる山車（だし）は29台あり、それぞれの山車にお囃子が乗り市内を曳き回す。最大の見どころは、夜、交差点などで山車同士が向き合い、お囃子を競演する「曳っかわせ」で、まつりのボルテージは最高潮に盛り上がる。

また、平成28年12月には、ユネスコ無形文化遺産に登録される。

令和2年、3年は中止だったが、令和4年は3年ぶりに開催予定。

32



新河岸川の舟遊



かつて、川越は江戸へ物資を運ぶ舟運により栄えた町だったことから、その様子を再現し、春まつりのイベントの一つとして、毎年、新河岸川で行われているもの。

現在は、堰や治水工事による整備が進み、一部の区間でのみ実施されており、ここ数年は、氷川橋～田谷橋の間で実施されている。



特産物



さつまいも

かつて川越藩領等で栽培されたサツマイモは、新河岸川の舟運を通じて江戸に供給され、「川越イモ」の名で広く知られるようになった。

現在も近隣の三芳町や川越市南部（福原地区）などで栽培され、近年は観光客向けのいも加工品が多く販売されている。



ご当地グルメ 川越太麺焼きそば



うなぎ

代々受け継がれてきた老舗のうなぎ店が市街地に点在している。



川越の観光まちづくりの変遷

- 平成 元年 NHK大河ドラマ「春日の局」が放送される
「電線類地中化事業」開始（蔵造りの町並みは平成3～4年）
- 平成 2年 「歴みち事業」の整備を開始
- 平成 7年 大正浪漫夢通り（旧銀座商店街）のアーケード撤去
- 平成 8年 時の鐘が「残したい日本の音風景100選」（環境省）に選定
- 平成 11年 一番街周辺部が「重要伝統的建造物群保存地区」に選定
" 観光サイン整備開始
- 平成 13年 菓子屋横丁が「かおり風景100選」（環境省）に選定
- 平成 15年 「川越まつり会館」オープン
- 平成 16年 川越市観光協会が社団法人化
蔵造りの町並みが（社）日本観光協会主催第11回優秀観光づくり賞「金賞・総務大臣賞」を受賞
- 平成 17年 川越まつりが国の「重要無形民俗文化財」に指定
- 平成 19年 天皇皇后両陛下、スウェーデン国国王・王妃両陛下が川越まつりの様子などをご覧に行幸啓される
- 平成 21年 NHK連続テレビ小説「つばさ」放送（川越が舞台）
- 平成 22年 ゆるキャラ「ときも」誕生、川越ロケーションサービス設立
- 平成 27年 「ウェスタ川越」、「元町休憩所」オープン
- 平成 28年 旧山崎家別邸一般公開開始
本川越駅観光案内所リニューアルオープン
川越氷川祭の山車行事（川越まつり）ユネスコ無形文化遺産登録
- 平成 29年 川越駅観光案内所リニューアルオープン
- 平成 30年 一般社団法人DMO川越が設立される
- 令和 元年 旧山崎家別邸 国の重要文化財に指定
- 令和 4年 一般社団法人DMO川越が観光庁による「登録観光地域づくり法人」に登録される

重点的に町並み整備が行われた

35



ご質問の回答

ご質問の回答

36



(1) 脅わいに欠けるエリアの活性化

37



昭和後期

昭和末期
～平成初期

平成前期

平成後期

北部商店街の衰退
×
蔵造り商家の没落

商店街の活性化
×
蔵造り商家の活用

まちの賑わい
創出
メディア露出の
機会増

観光地としての
定着

- ・蔵の会（現NPO）を中心とする、**民間側**の町並み保存・まちづくり活動
- ・**行政側**は文化財指定や都市計画決定の縮小変更等

38



ご質問(1)

まちづくりの歴史

- 1457年 川越城築城
1638年 寛永15年の大火
松平伊豆守信綱の町割り 十力町4門前郷分町
1893年 明治26年の川越大火
翌年以降、蔵造りの町並みの成立

- 1981 (昭和56) 年 蔵造り商家 文化財指定開始
1983 (昭和58) 年 川越蔵の会発足 (2002年 特定非営利活動法人化)
1986 (昭和61) 年 一番街コミュニティマート調査報告書
1987 (昭和62) 年 一番街町並み委員会発足
1988 (昭和63) 年 一番街町づくり規範制定
1989 (平成元) 年 川越市都市景観条例施行
1999 (平成11) 年 都市計画道路の縮小変更 (次ページ参照)
伝統的建造物群保存地区の都市計画決定 7.8ha
及び国的重要伝統的建造物群保存地区に選定

39



ご質問(1)

都市計画道路の縮小変更



計画を残したままでは重伝建選定できないため計画変更により拡幅を取り消し





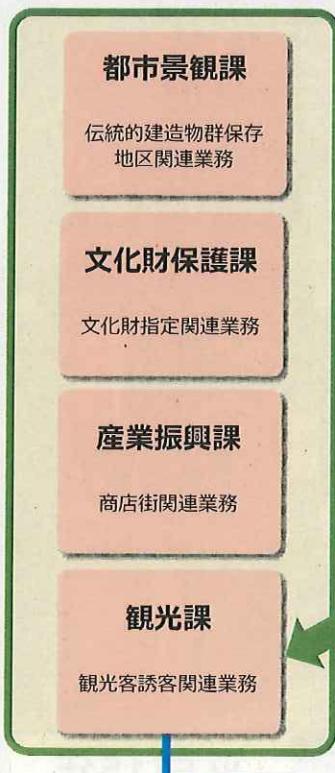
(2)まちづくりを担う仕組みづくり

43



ご質問(2) まちづくりを担う仕組みづくり（事例：川越一番街）

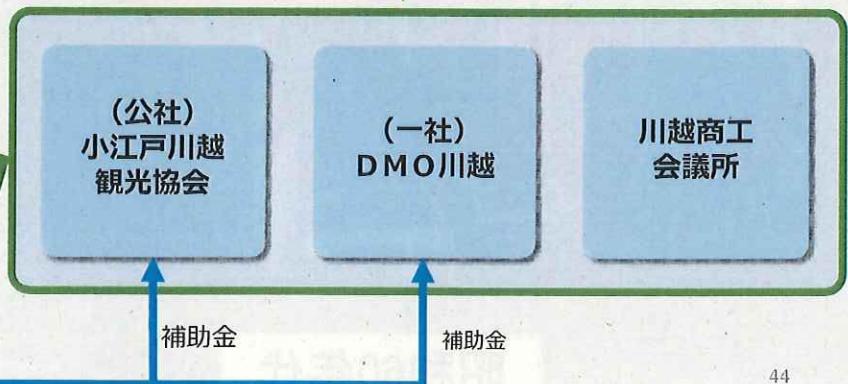
行政



民間



経済団体



44



(3)地域づくりを牽引する人材

45



先ほどご説明した「川越蔵の会」には、発足時、建築の専門家、市職員（建築職）、商店主等、多種多様な人材があり、一番街商店街の活性化案を練り上げ、市を動かしながら実行に移していました。当時から一定の代替わりもしていますが、その活動に賛同した若手・中堅の会員があり、NPO活動を行っています。

また、観光関連分野でも市内在住の有識者（大学教授等）があり、審議会等において、専門的知見に基づいた意見を頂いています。

市（行政）でも観光分野での職責を志して入庁する職員多く、観光課にも意識の高い若手職員が多くいます。

46



ご質問(4)

(4) 土産物や特産品の開発

47



ご質問(4)

川越セレクション

土産品・特産品については、主に小江戸川越観光協会が担当。

「本物」にこだわった魅力あふれる产品を「川越セレクション」（小江戸川越ブランド产品）として認定・推奨し、現在は32事業者の53品目が認定されている。

川越セレクション

QRコード

小江戸川越のお土産推奨品

歴史と文化の香りが漂うまち・小江戸川越は、ものづくりの技術を誇り多くの職人たちが営むまちです。そして、今更にこだわった、地元おられる商品を販売するため活動しています。

（小江戸川越観光協会で）
このセレクションセレクション（小江戸川越ブランド商品）として認定・推奨しています。
是非一度お店を訪れていただき、
さらに「川越セレクション」をお試しください。

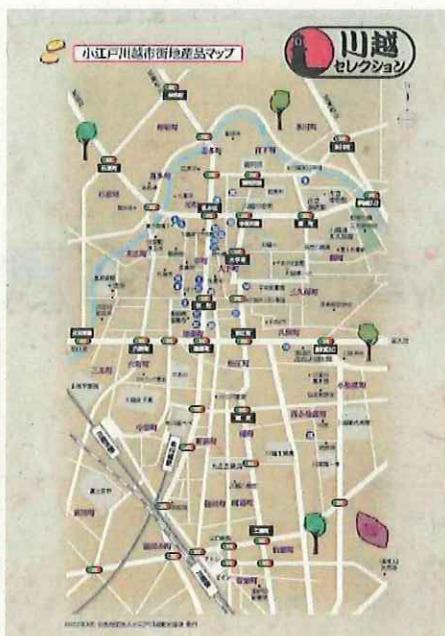
The grid displays 53 certified products, each with a small image and a brief description:

- 1. 小江戸川越の味噌漬け
- 2. 小江戸川越のオクラ
- 3. 小江戸川越のオクラ
- 4. 小江戸川越のオクラ
- 5. 小江戸川越のオクラ
- 6. 小江戸川越のオクラ
- 7. 小江戸川越のオクラ
- 8. 小江戸川越のオクラ
- 9. 小江戸川越のオクラ
- 10. 小江戸川越のオクラ
- 11. 小江戸川越のオクラ
- 12. 小江戸川越のオクラ
- 13. 小江戸川越のオクラ
- 14. 小江戸川越のオクラ
- 15. 小江戸川越のオクラ
- 16. 小江戸川越のオクラ
- 17. 小江戸川越のオクラ
- 18. 小江戸川越のオクラ
- 19. 小江戸川越のオクラ
- 20. 小江戸川越のオクラ
- 21. 小江戸川越のオクラ
- 22. 小江戸川越のオクラ
- 23. 小江戸川越のオクラ
- 24. 小江戸川越のオクラ
- 25. 小江戸川越のオクラ
- 26. 小江戸川越のオクラ
- 27. 小江戸川越のオクラ
- 28. 小江戸川越のオクラ
- 29. 小江戸川越のオクラ
- 30. 小江戸川越のオクラ
- 31. 小江戸川越のオクラ
- 32. 小江戸川越のオクラ
- 33. 小江戸川越のオクラ
- 34. 小江戸川越のオクラ
- 35. 小江戸川越のオクラ
- 36. 小江戸川越のオクラ
- 37. 小江戸川越のオクラ
- 38. 小江戸川越のオクラ
- 39. 小江戸川越のオクラ
- 40. 小江戸川越のオクラ
- 41. 小江戸川越のオクラ
- 42. 小江戸川越のオクラ
- 43. 小江戸川越のオクラ
- 44. 小江戸川越のオクラ
- 45. 小江戸川越のオクラ
- 46. 小江戸川越のオクラ
- 47. 小江戸川越のオクラ
- 48. 小江戸川越のオクラ
- 49. 小江戸川越のオクラ
- 50. 小江戸川越のオクラ
- 51. 小江戸川越のオクラ
- 52. 小江戸川越のオクラ
- 53. 小江戸川越のオクラ



ご質問(4)

川越セレクション



49

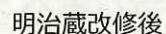
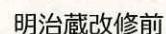


ご質問(4)

小江戸蔵里（川越市産業観光館）

廃業した酒造跡地を平成13年度に市（土地開発公社）が購入し、**お土産処（明治蔵）**、食事処（大正蔵）、くら市場（昭和蔵）（H29以降は利き酒処）、つどい処（旧瓶詰作業所）として平成22年度にオープンした。

明治8年	鏡山酒造創立
平成12年	鏡山酒造廃業
平成13年度	川越市土地開発公社が土地購入・建物寄附
平成19年度	改修工事着工
平成20年度	改修工事竣工（外構工事一部は平成21年度に繰越）
平成21年度	指定管理者募集・協定締結
平成22年度	指定管理業務開始（指定管理先（株）まちづくり川越）
平成29年度	昭和蔵改修工事



クリアモール 川越駅方面





(5)地域活性化の合意形成

51



合意形成については、伝建地区選定の際も蔵の所有者等の住民との合意形成に年単位の時間を要しており、それでもここまで辿り着けたのは、川越のまちづくりは官民協働のバランスを大切にしている点がポイントだと思います。

一方、昨今の食べ歩き、ごみのポイ捨てに関しては、合意形成に係る大きな課題となっており、持続可能な観光の推進と市民の生活環境の維持・向上の両立を目指していく必要があります。

52



終わり

ご清聴、誠にありがとうございました。

